

広報紙及び新聞広報に関する比較分析

1. 紙面面積

広報紙「広報とくしま」（以下、広報紙という。）はタブロイド判（縦 40.6cm×横 27.2cm）のため、1面あたりの紙面面積は1,104cm²であり、4面構成の1日号は4,416 cm²、8面構成の15日号は8,832 cm²となります。

一方、新聞広報「徳島市政だより」（以下、新聞広報という。）の紙面面積は1回につき372 cm²（縦9.8cm×横38.0cm）となります。

発行頻度等が異なるため、年間紙面面積で比較をすると、広報紙は163,392 cm²（4面×11回、8面×13回）、新聞広報は18,972 cm²（年間51回）であり、広報紙は新聞広報の約9倍の紙面面積を有しています。

2. 掲載記事数

平成29年度実績で、掲載記事数（年間）は、広報紙は987件、新聞広報は413件でした。

広報紙は新聞広報に対して、紙面面積は約9倍ですが、掲載記事数は約2.4倍でした。紙面面積に対して、掲載記事数が少ない理由は、新聞広報は文字だけの構成であるのに対して、広報紙は写真やイラスト、表、グラフなども用い、わかりやすい構成となっているため、1件の記事が占める紙面面積が大きいからです。（広報紙165.5 cm²/件、新聞広報45.9 cm²/件）

3. 費用

平成29年度に各広報媒体に要した費用は、広報紙が45,750千円、新聞広報が9,574千円でした。費用を面積あたりに換算すると、広報紙は280円/cm²、新聞広報は505円/cm²となり、新聞広報は広報紙の1.8倍の経費がかかっていることとなります。

4. 掲載記事の重複

平成29年度に新聞広報に掲載された記事は413件あり、そのうち391件は広報紙に掲載された記事と同じ内容の記事でした。（94.7%）

重複していた391件の記事のうち、368件は広報とくしまに掲載された日から1か月以内に掲載されました（94.1%）。

また、新聞広報の掲載回数51回（年間）のうち、広報紙（1日、15日発行）と同日に掲載した回数は6回（11.8%）ありました。さらに、この6回に掲載された記事件

数 50 件のうち、同日の広報紙と同じ内容の記事が 30 件（60%）ありました。

5. 掲載記事のテーマ

広報紙に掲載された記事のテーマ別の割合は、高い順に「文化・スポーツ」（25.3%）、「食・観光・イベント」（24.2%）、「医療・健康づくり」（10.8%）、「市政情報」（6.5%）となりました。

新聞広報に掲載された記事のテーマ別の割合は、高い順に「食・観光・イベント」、「医療・健康づくり」（ともに 16.0%）、「仕事（就労・雇用）」（14.8%）、「文化・スポーツ」（9.7%）となりました。

市民アンケートにおいて、広報紙、新聞広報それぞれで充実してほしいテーマとして、どちらも高い順に、「食・観光・イベント」、「医療・健康づくり」、「文化・スポーツ」という結果であり、実際の広報紙と新聞広報に掲載したテーマと概ね一致していました。

6. 配布方法

広報紙は、新聞 6 紙（徳島、朝日、読売、毎日、産経、日本経済）への折り込みにより新聞とともに新聞購読者に配達されるため、新聞 6 紙のいずれかを購読している世帯には確実に届きます。また、新聞未購読世帯についても、希望があれば、郵送で配布することとしています。ほかにも、関連施設（支所、市立図書館、イオンモール徳島等）に設置し、自由に持ち帰ることができます。

一方、新聞広報は、掲載している新聞は 4 紙（徳島、朝日、読売、毎日）であり、広報紙の折り込みをしている産経新聞、日本経済新聞には掲載していません。

つまり、産経新聞及び日本経済新聞の購読者と新聞未購読者に、広報紙は届けることができますが、新聞広報は届けることができません。

7. 保管方法

広報紙は、タブロイド判で新聞本体とは別であるため、そのまま広報紙だけを保管することができます。

一方、新聞広報は新聞紙面に掲載されているため、保管のためには、記事を切り抜き、スクラップするなどの手間が必要となります。